



第317号

HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- “看護フェア” に、当会が参画しました！ (5月8日) 1～2
- 第65回 日本医学検査学会のご案内(1) 2～3
- 《行事予定表》 4～5
- 《賛助会員コラム》・第65回 日本医学検査学会のご案内(2)・成功させよう！ 第32回世界医学検査学会・《求人情報》 6～7

“看護フェア” に、当会が参画しました！

(5月8日)



少子化や高齢化が急速に進んでいる今日、医療・看護に対する関心が高まっています。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、厚生労働省により1990年に5月12日(国際ナースデー: International Nurses Day、ナイチンゲールの誕生日)を「看護の日」と制定されました。毎年この日に合わせて、看護の心を広く伝えるために市民、行政、保健医療福祉関係者などが協力してつくりあげる『看護の祭典』として、全国で催しが行われます。兵庫県では5月8日、兵庫県看護協会に於いて“脳活 - 脳のアンチエイジング”をテーマに

開催されました。

午前の部(オープニングイベント)として、古和久朋先生(神戸大学大学院医学研究科・内科学講座 神経内科学分野 准教授)に、今回のテーマにそった特別講演をしていただきました。

午後の部として、「多医療職種による測定および相談」コーナーが設けられ、放射線技師会が骨密度測定、栄養士会が栄養相談等、歯科衛生士会が口腔ケアについての啓もう、理学療法士会が筋力測定、臨床工学士会がもの忘れ相談プログラムなどいくつかの体験コーナーが設けられていました。当会はパネル展示と頸動脈超音波検査を行い、約260名の方が体験されました。検査が始まると、少し緊張した面持ちになっていましたが、中には画像について尋ねる方もおられました。検査を終えて、「動脈硬化はどのように気をつけられるの?」、「硬化した血管は治せるの?」と熱心に質問される方や、「今日はこの検査をしにきました。」、前回のデータを持参されて見比べながら「より血管の壁が厚くなっている。」と目的を持って来られたリピーターの方もおられ、一般の方々の関心の高さに驚かされました。検査説明をする臨床検査技師も、



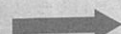
かかり付けの医師にご相談ください、と適切なアドバイスもしておりました。

今回は好天に恵まれ来場者が多かったため、決められた時間のなか、終了時間を過ぎて並ばれていた方々に断腸の思いでお断りしなければなりませんでした。抽選制にするなど次回への課題としたいと思います。今後もこのような機会には積極的に参画し、臨床検査技師の仕事を知ってもらえるように努めたいと思いました。

(文責：広報部)

臨床検査技師会による

頸動脈
超音波測定



第65回

日本医学検査学会のご案内(1)

近年の医療改革が進む中、臨床検査を通じて社会により良質な医療を提供するためにはわれわれは何に挑戦してどのように進化すべきでしょうか。そのような視点から、本学会のテーマは「Challenge ～伝統の継続と未来への進化～」といたしました。

今回の学会はIFBLS2016(第32回世界医学検査学会)、第63回日本臨床検査医学会学術集会、第11回日本臨床検査学教育学会学術大会と同時開催です。日本臨床検査医学会とはシンポジウムなどのセッションを共催とし、臨床検査技師の視点からだけでなく、検査医の視点からのディスカッションを通して病態の理解を深めればと思っています。また、国際学会と同時開催ですので国際観のある学会になればと思っています。

最後にこの学会にご参加された方々の学術や技術レベルが向上し、医療の場でより有益な臨床検査について議論することによって、臨床検査を通じた社会貢献へ繋がっていければと願っていますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。

皆様のご参加のほどよろしくお願いいたします。

(JAMTマガジン掲載：中町祐司学会長あいさつ抜粋)

会 期：平成28年9月3日(土)～4日(日)

会 場：神戸国際会議場・神戸国際展示場・神戸ポートピアホテル

テ マ：“Challenge” ～伝統の継続と未来への進化～

1. 演題のエントリー状況について

最終の演題数は下表の通りとなりました。

分 野	演題数	分 野	演題数	分 野	演題数
細菌	84	生理	109	管理運営	24
免疫血清	45	一般	43	教 育	13
血液	42	公衆衛生	2	チーム医療	63
臨床化学	37	輸 血	34	そ の 他	10
病理	37	情報システム	8		
細胞	11	遺伝子・染色体	16		
合 計		578			

北海道から沖縄まで多数の会員の皆様のご協力により予定した演題数を達成することができました。今回は第63回日本臨床検査医学会学術集会との同時開催であり、学会開催時にはさらに236演題が加わった計814演題が聴講可能です。検査医がコメンテーターとして参画するセッションもありますので、臨床検査技師の視点からだけでなく、検査医の視点からのディスカッションを通して病態の理解を深めていただければと思います。

2. 事前参加登録について

事前参加申込数は現在189件です。事前参加申し込みをしていただくと、参加費割引およびランチョンセミナーの優先予約という特典がついてきますので、ぜひご活用ください。

詳細はホームページ (https://www.congre.co.jp/65jamt/pre_registration.html) にてご確認願います。

3. ランチョンセミナー・スイーツセミナーについて

ランチョンセミナー27、スイーツセミナー6を準備予定です。ランチョンセミナーは参加者の皆様に昼食が十分行き渡るよう配慮いたしますが、聞きたいランチョンセミナーを確実に押さえたい方は、2で案内いたしました事前参加登録を活用願います。

9/3(土) 午後に企画しているスイーツセミナーでは神戸ならではの品を考えておりますので、甘味好きな方は乞う御期待を！

4. 展示について

神戸国際展示場の2号館・3号館を使って72社が出展予定です。最新の機器情報を提供いたします。第32回世界医学検査学会が同時開催であるため、例年とは異なる国際色豊かな展示になると思います。海外の検査技師や医師の方々も多数参加されます。世界の臨床検査をご自身の肌で感じてください。

5. 行列のできるスキルアップ研修会について

例年同様学会開催前日の金曜日(9/2)に開催いたします。分野としては、一般、生理、病理、輸血、微生物、POCT、フローサイトメトリーの7分野です。各種認定資格のためのポイントを取得する絶好の機会でもありますので有効に活用してください。また、この日は国際交流企画として開催される「世界の臨床検査技師」(同時通訳)と第32回世界医学検査学会オープニングセレモニーおよび特別記念講演に、どなたでも自由に参加できますので、奮ってご参加ください。皆様にお会いできる日を楽しみにしております。神戸で会いましょう！

(JAMT マガジン掲載抜粋)

広報部では“学会案内”を随時掲載してまいります。ご期待ください。

賛助会員

コラム [50]



Kanto Chemical Co., Inc.

関東化学(株)

社会貢献を目指して

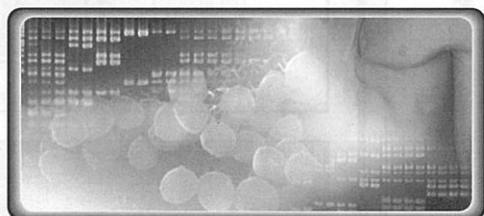
井吹 武司 (大阪支店 ライフサイエンス部)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回のコラムでは、関東化学株式会社の紹介をさせていただきます。

弊社は、1944年の創立以来、総合試薬メーカーとして「分析用試薬」「臨床検査薬」「電子工業用薬品」「高純度化学薬品」などの製造販売を行っております。タイトルロゴのCicaは、製品の品質を保証するシンボルと産業界に寄与する事業の理想を示すものとして1949年に創案されたものです。化学を象徴するベンゼン環の中に、C=Chemicals I=industrial Products C=collect A=associateの頭文字を取ってアレンジしています。

ライフサイエンス部では、体外診断用医薬品、細菌学検査用培地、病理用検査試薬などを扱っており、最近では愛知県衛生研究所の鈴木先生らが開発したPCR-based ORF Typing (POT) 法に基づいた遺伝子検査キットである「シカジーニアス分子疫学解析 POT キット」を発売いたしました。当キットはマルチプレックスPCRを用いて複数の特定遺伝子を同時に検出し、アガロースゲル電気泳動で分離・検出を行います。検出された増幅バンドのパターンを解析し数値化 (POT 値) することで、簡便にMRSAや緑膿菌、アシネトバクター属菌の相同性が推定できます。今まで菌の相同性を見るにはPFGE (パルスフィールドゲル電気泳動) 法がスタンダードでしたが、操作が煩雑であり、また外注すると1検体あたり数万円、かつ結果を得るまで2週間以上かかるなどの問題がありました。POTキットは汎用的な機器で実施可能であり、約4時間で結果が得られ、コストも安価です。詳細につきましては、弊社ホームページをご参照下さい。(http://www.kanto.co.jp)



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)は医療関連感染の主な原因菌であり、この蔓延防止には菌体間の相同性などを解析し、適切な拡散予防策を講じる必要があります。愛知県衛生研究所の鈴木先生により開発されたPCR-based ORF Typing (POT) 法¹⁾は、マルチプレックスPCRを用いて複数の特定遺伝子を同時に増幅し、アガロース電気泳動で検出された増幅バンドパターンを解析し、菌体間の相同性を比較する方法です。

* 製品のラインナップが増え、POTの試験を正確に実施できるようにしました。

参考文献
1. Suzuki M et al. J Appl Microbiol. 101(4):2020-247 (2006)
2. Suzuki M et al. J Appl Microbiol. 107(4):1367-1374 (2009)

特長

- 最適化したマルチプレックスPCRなので、約4時間以内で分子疫学解析が可能です。
- パルスフィールドゲル電気泳動 (PFGE) のように特殊な装置は不要です。
- 解析結果を数値化 (POT 値) することで、菌体間の相同性を比較できます。

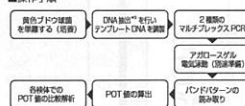
■キットの構成 (120回分)

試薬名	数量
試薬A AptaTag DNA Master (5xConc) **	1.0ml x 1本
試薬B PCRプライマーセット	1.0ml x 1本
試薬C プライマーミックスA	0.5ml x 1本
試薬D プライマーミックスB	0.5ml x 1本
試薬E ポジティブコントロール	1.0ml x 1本
試薬F 6xローディングバッファー	1.0ml x 1本

** AptaTag DNA Master (5xConc) は、Roche Diagnostics K.K.の商標です。

*** シカジーニアス™ DNA製品は登録商標です。

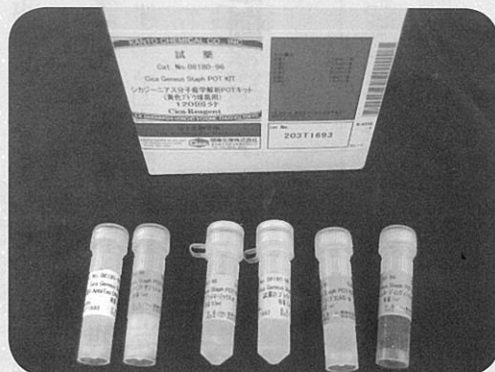
■操作手順



Cica Kanto Kagaku

近年、薬剤耐性菌による院内感染が大きな問題となっております。こういったキットを院内感染対策のツールとしてご活用いただくことで、日々対策に邁進される皆様の一助となり、院内感染による患者様やご家族の苦しみを少しでも減らせる事を願っております。

今後とも関東化学株式会社をよろしくお願い申し上げます。



「シカジーニアス分子疫学解析 POT キット」PCRに必要な試薬は全て本キットに含まれております。



第65回 日本医学検査学会のご案内(2)

学会特別企画

特別講演：先制医療とその実現に向けての課題

講師：井村 裕夫 先生（京都大学名誉教授、(公財)先端医療振興財団名誉理事長）

招待講演：これから世界でPathology Informaticsを担うひとたち

講師：八木 由香子 先生（Assistant Professor of Pathology, Harvard Medical School）

Pathology Informatics分野で想像以上の発展を期待するには次のような人材が必須である。「チャレンジが好きな人」「あらゆる顕微鏡、ITに興味がある人」「病理の基本的知識があること」「標本作成のすべての工程の知識があること」これらすべてが当てはまるのは、臨床検査技師ではないか。臨床検査技師の協力を得て実現できる、世界を視野に入れた日本のPathology Informaticsの将来像について述べる。

市民公開講座：ありがとう臨床検査の皆さん

講師：八名 信夫 先生（悪役商会/俳優）

成功させよう！

第32回世界医学検査学会

メインテーマ：国境なき臨床検査の革新ー基礎から応用までー



来年（平成28年）8月31日～9月4日まで神戸国際会議場・神戸国際展示場などで開催されるIFBLS2016第32回世界医学検査学会には、多くの当会会員が英語発表に挑戦したり、海外の検査技師（BLS）との国際交流を行っていただくことがこの学会の目標であります。本号では学術企画の詳細と一般発表の登録方法をご案内いたします。

国際担当執行政理事 長沢 光章

9月2日(金)

15時45分～

同時通訳付

参加費無料

特別記念講演

特別記念講演者に2002年ノーベル化学賞受賞の 田中耕一先生が決定しました。

「血液一滴で病気の早期予防ができる」技術の実用化に関する業績にご注目！

講演詳細：

9月2日(金) 15:40～16:30

タイトル：「臨床検査における質量分析装置の実践的応用」

ソフトレーザーによる質量分析技術の開発で、2002年にノーベル化学賞、文化功労者、文化勲章を受賞。

「血液一滴で病気の早期発見ができる」技術の実用化に向けて活躍中の田中耕一先生（株式会社島津製作所 シニアフェロー・田中耕一記念質量分析研究所所長、田中最先端研究所所長）が、本学会の特別記念講演（Keynote Speech）の演者に決定しました。

9月2日(金)

13時～

同時通訳付

参加費無料

英語がちょっと苦手な方には

「世界の臨床検査技師」

日臨技の国際交流推進事業の一環として、世界医学検査学会のプログラムとは区別し、国内会員向けに、世界の臨床検査の現状を知る企画が決定。来日されるいくつかの各国代表に、各国の臨床検査事情を紹介いただき、国内会員の国際意識を喚起する内容となります。

英語がわからなくても、「安心してください。ついてますよ。同時通訳」。

この企画の直後には、同会場で、国際色豊かな開会セレモニーと上記の特別記念講演が続きます。

第65回日本医学検査学会だけ参加予定の会員の方や、スキルアップセミナーから参加予定の会員の方も少し早めに会場に入れば、世界医学検査学会に参加登録がなくてもこれらの企画に参加できます。

求人情報

*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

●医療法人社団清和会 笹生病院

交 通：阪神香櫨園駅下車 徒歩6分

採用条件：臨時職員

業務内容：臨床検査技師業務

連絡先：0798-34-0605（人事採用課 清原）

お知らせ

平成28年度

健康ひょうご21県民運動推進フォーラム

～自ら取り組む健康づくり

～支えあう心でのぼそう健康寿命～

日時：平成28年6月2日(木) 13:00～16:00

会場：兵庫県看護協会 ハーモニーホール

内容：表彰

がん・腎研究奨励賞贈呈式

健康ひょうご21県民運動について

講演 「健康長寿社会を可能とする

自助、共助、公助のあり方」

久野 諡也 先生

(筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授)

平成28年度 健康ひょうご21県民運動推進会議 健康ひょうご21

健康ひょうご21県民運動推進フォーラム

～自ら取り組む健康づくり 支えあう心でのぼそう健康寿命～

日時 平成28年 6月2日(木) 13:30～16:00
(開場:13:00)会場 兵庫県看護協会 ハーモニーホール
神戸市中央区下山手通5-6-24 (県庁会館内)入場無料
350名

◆表彰 (健康づくり等に際する知事表彰、兵庫県健康財団会長表彰)

◆がん・腎研究奨励賞贈呈式

◆健康ひょうご21県民運動について

◆講演 「健康長寿社会を可能とする
自助、共助、公助のあり方」

久野 諡也 氏 (筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授)



【講演主旨】我が国は、高齢者の数増加が著しく、かつ人口減も進行している。加えて、その数増を招く原因、社会制度等の課題が顕著に浮き彫りである。今後どうに高齢化社会を構えて、高齢者に対する健康増進や医療の増加、医療費や介護費等の増大をどこまで以上に抑制し社会負担にできる可能性を秘めている。新しい国となる夢の時代と、高齢者、心臓病などの生活習慣病と密接に結びつき、健康、長寿などの意識の高まりが社会の動きを促している。したがって、生活習慣病と密接な関係の低下を予防、改善させることは健康長寿を促進するための重要なポイントになると考えられる。

本講演では、健康長寿社会を可能とする自助、共助、公助のあり方についてお話しする。

申込方法 FAXまたははがき (1枚につき3名まで可也です)

FAX: 神戸市兵庫区西町2丁目1-12 (公財)兵庫県健康財団 健康づくり推進部(内)

はがき: 〒代表者氏名、代表者住所、電話番号、代表者の氏名、健康ひょうご21県民運動推進会議の名称、団体名を記入のうえ、下記までにお申し込みください。

【宛先】〒655-0032 神戸市兵庫区西町2丁目1-12
(公財)兵庫県健康財団 健康づくり推進部(内)

締 切 5月20日(金)必着 ※申し込み多数の場合は先着順とさせていただきます。

主催：健康ひょうご21県民運動推進会議 (共催：兵庫県看護協会 兵庫県
看護協会 がん研究奨励賞 がん研究奨励賞 がん研究奨励賞 がん研究奨励賞 がん研究奨励賞
協賛：伊藤ハム(株) 大塚製薬(株) カゴメ(株) フジッコ(株) リーキー(株) 日清食品(株) 日清食品(株) 日清食品(株) 日清食品(株) 日清食品(株)